

令和4年度森林環境譲与税の使途

森林環境譲与税 譲与額 : 8,212千円
充当額 : 5,016千円

()事業区分	()事業名	()事業総額 (千円)			()事業内容	()税導入の効果
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税 (千円)	(B)うち他の財源 (千円)		
森林整備	自治体間連携による森林整備事業	1,635	1,635	0	友好交流都市協定を結んでいる北秋田市と、森林整備事業を共同実施し、森林整備によるCO2の吸収量を、国立市の事務事業から排出される温室効果ガスに対してカーボンオフセットとして計上し、温室効果ガスを削減する事業。	令和4年度は、北秋田市のスギ林24.24haの間伐と17.68haの下刈りを行った。その結果、258.6t-CO2の二酸化炭素吸収量をカーボンオフセットに充てることができた。
木材・普及啓発関係	マタギの地恵体験学習派遣事業	1,380	1,092	288	都市間交流を進めている北秋田市へ小学生を短期間派遣し、国立市では学ぶことのできない北秋田市の文化を体験する機会を提供する事業。 あわせて植樹体験等により森林環境教育を推進する。	令和4年9月に市内在住の小学校4～6年生の児童14名が、森林環境学習を目的として、北秋田市で植樹体験を行い、合計100本のスギの苗を植樹した。
木造公共建築物の整備等	くにたち未来共創拠点矢川プラス整備事業	3,096	2,289	807	R5年4月開業の複合公共施設「くにたち未来共創拠点矢川プラス」において、多摩産材を活用した備品・遊具等を調達する事業。	都有地を活用し、子育てを中心とした多世代交流拠点として、複合公共施設「くにたち未来共創拠点矢川プラス」を整備し、令和5年4月に開業した。 開業に当たり、国産材を使用したテーブルやベンチ等の什器や、造作遊具（ままごとキッチン）等を購入した。
充当事業計		6,111	5,016	1,095		
森林環境基金積立		3,196	3,196	0	間伐や人材育成・担い手の育成、木材利用の促進、山村地域との交流を通じた森林整備に備えた積立（左記の額を翌年度に繰り越し、令和5年度に基金へ積み立てる）	
合計		9,307	8,212	1,095		